



学校通信

我が輩はトラフズク

令和6年11月25日 No.8

弘前市立第三中学校 (担当: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

「一番むずかしい人」

校長 小笠原 恭史

その人は、毎日やらなければならないことがあるのにやりません。それが必要なことだと分かっているのにやりません。その人は、自分で目指したいことなのに諦めます。やればできることなのに諦めています。その人は、自分です。

同じような人が他にいたとして、その人がこちらの期待どおりに動いてくれないのは当たり前です。しかし、自分が、自分のことで、自分の体を動かしてやればできることなのにやらないのですから、「一番むずかしい人」は、自分です。

“やらなければならないことをやらない”、“目指したいことを諦める”、それらの理由を何かの・誰かの所為(せい)にさえていたことがあります。“忙しいから”、“誰も協力してくれないから”、“邪魔されるから”などなど。正直に言えば、“面倒くさい”に負けていたのです。目指す未来に向かう“長いプロセス”や必要な努力に臆していただけなのです。そのことを自分で認めたくなくて、何かの・誰かの所為にしたり、先月の学校通信に書いた「学校の薬物」を使ったりしていたかもしれません。

突きつけられた現実がありました。それは、何一つ課題が解決していかないということと、毎日が楽しくないということです。やらなければならないことをやらず、目指す未来を諦めていたのですから、しょうがありません。

中学生の日常に例えると、授業に“関わろう・分かろう・できよう”と取り組んでいない、やっていないプリントがたくさん残っている、丸付けをしたワークも実は答えを見ながらやったもの、それらを知っている自分から、目指す未来が遠ざかっていくようで諦めてしまうというところです。

未だきちんとできずにいます。それでもここまで生きながらえてこれたのは、“できることから少しずつ”を心掛けてきたからだだと思います。ただ、この“できることから少しずつ”に対しても、「一番むずかしい人」は、“今さらやって間に合うの? ”、“こんなちょっとずつに意味あるの?”と、心の中で繰り返し呟いています。

この呟きを“本心確認サイレン”だと思いうようにしています。“それでもやりますか・やめますか”と。

自分がそうしたいのに(そうすればできるのに)、そうしない自分~「一番むずかしい人」が現れたときは確かめてみます。例えば、思いやりを大切にしているか、目指す未来は本気なのかと。

「一番むずかしい人」は、やる気の無さを装う心の番人なのかもしれません。

第76期 生徒総会

11月14日(木)、生徒総会が行われ、75期前期の活動の活動報告と76期後期の活動計画が提案され、それぞれ承認されました。先輩からのバトンを受け継いだ後輩達による生徒会活動が、これまで以上に充実し、よりよい三中を築いていくことを期待しています。



後期(11月~4月)の活動計画

生徒会執行部

生徒会長 相馬 金志朗

副会長 1年:清野 葉琉 2年:平山 瑞月希

○ジャナイカ目標

規律を守って壮大な行事の実現を目指そうジャナイカ

代議委員会

委員長 齋藤 青冬

副委員長 1年:大澤 蒼汰 2年:眞壁 穂佳 3年:片岡 奏

○ジャナイカ目標

規律正しく生活し、三中のよさを他校にも知らしめようジャナイカ

学習委員会

委員長 山下 奏

副委員長 1年:大條 紗希 2年:鈴木 花歩 3年:一戸 楽惺

○ジャナイカ目標

5点UP問題に積極的に取り組み、テストの点を上げようジャナイカ

朝読書では早めに座って読書をしようジャナイカ

保健委員会

委員長 戸田 桜

副委員長 1年:秋元 結愛 2年:高松 璃 3年:鎌田 和畿

○ジャナイカ目標

時間いっぱい丁寧に掃除し、綺麗な学校にしていこうジャナイカ

文化・環境委員会

委員長 佐々木 あいり

副委員長 1年:小林 悠真 2年:鈴木 愛夢 3年:豊沢 直太

○ジャナイカ目標

生徒のみなさんが毎日登校したくなる環境づくりをしようジャナイカ

生活委員会

委員長 菅原 一華

副委員長 1年:川越 恵心 2年:前田 涉翔 3年:桑村 大智

○ジャナイカ目標

5S(整理・整頓・清潔・清掃・習慣)を大切にして過ごしやすい学校にしよう

ジャナイカ

図書委員会

委員長 太田 菖蒲

副委員長 1年:左 国時 2年:佐々木 千琴 3年:工藤 紗優

○ジャナイカ目標

誰もが集中し、読書に没頭できるような図書室にしようジャナイカ

○思いやりの心を持ち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる

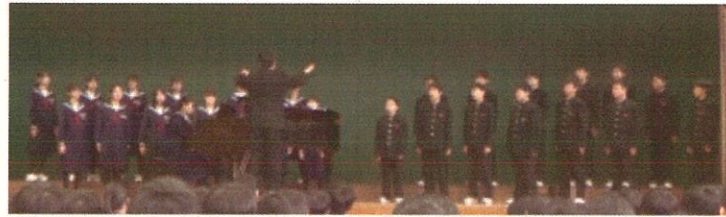
三中学区の子ども像(15歳の姿) 地域を思い、未来に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい子ども

体育館に響き渡る歌声 合唱コンクール

11月1日(金)、校内合唱コンクールが開催されました。審査員には、弘前高等学校の藤村美香先生、弘前中央高等学校の猿賀智美先生をお迎えしました。どの学級も、仲間と協力し合ってつくり上げた歌声を堂々とステージ上で披露し、クラスが団結した姿を見せてくれました。また、多くの保護者の皆様に参観いただき、ありがとうございました。

審査結果

1年 金賞 4組「君をのせて」
 銀賞 1組「マイバラード」
 銅賞 2組「HEIWAの鐘」
 3組「Believe」
 ☆指揮者賞 奈良 駿 ☆伴奏者賞 堤 佳吏



2年 金賞 1組「ひまわりの約束」
 銀賞 4組「手紙」
 銅賞 2組「愛唄」
 3組「愛をこめて花束を」
 ☆指揮者賞 前田 渉翔 ☆伴奏者賞 野呂 妃愛・関 楓月



3年 金賞 4組「結」
 銀賞 1組「奏」
 銅賞 2組「友 ~旅立ちの時~」
 3組「群青」
 5組「打上花火」
 ☆指揮者賞 片岡 奏 ☆伴奏者賞 川越 好



貴重な2日間 職場体験学習

10月23日(水)・24日(木)の2日間の日程で、2年生の職場体験学習が34カ所の事業所等で行われました。

職場体験学習は、小学校の「職場見学」、高校の「インターンシップ」と合わせて系統立てて計画されているものです。生徒にとって「自己の理解を深め、職業の実像をつかみながら、望ましい勤労観、職業観を身に付けることができる」、「学校の学習と職業との関係についての理解を促進することができる」、「異世代間も含めたコミュニケーション能力の向上が図れる」、「実地的な知識や技術を学ぶことができる」、「社会的なルールやマナーを体得することができる」、「地域や事業所に対する理解を深め、地元への愛着や誇りを持つことができる」などの教育的な意義があります。

三中学区の子ども像(15歳の姿) 地域を思い、未来に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい子ども

体験活動を終えた生徒の感想には、「相手のことを考えて仕事をする事の大切さを学んだ」、「人を笑顔にする仕事につきたい」、「接客では笑顔の大切さを学んだ」、「人を楽しませるためには、自分も楽しみながら仕事をする事が大切だと学んだ」等、働くことの大変さと同時に働く喜びについても多くつづられており、実り多きものとなりました。

今回、職場体験学習を実施するにあたり、ご協力を頂いた各事業所等の方々、学校運営協議会委員の方々に、改めてお礼を申し上げます。



12月の主な行事予定

1	日		16	月	平常①~⑥、3年三者面談
2	月	短縮①~⑥、生徒会委員会	17	火	短縮①~⑥、⑥2学期大清掃
3	火	変則①~⑥、3年実力テスト	18	水	短縮①~⑤、教育課程検討会①
4	水	平常①~⑤ ⑤1年薬物乱用防止教室	19	木	平常①~⑥
5	木	短縮①~⑥	20	金	短縮①~④ ⑤参観授業13:40~14:30 全体会14:45~15:00 学年・学級懇談15:10~15:40 第4回学校運営協議会
6	金	短縮①~⑥	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	平常①②、③2学期終業式 ④学活 ※給食あり 下校13:30
9	月	短縮①~⑥	24	火	3年学習会①<授業日>
10	火	短縮①~⑥、激励集会	25	水	3年学習会②<授業日>
11	水	平常①~⑤	26	木	3年学習会③<授業日>
12	木	平常①~⑥、3年三者面談	27	金	
13	金	平常①~⑥、3年三者面談	28	土	
14	土		29	日	年末休業日、学校閉庁日~1/3
15	日		30	月	
			31	火	

(*変更になる場合もあります。)

○思いやりの心を持ち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる